

# デング熱の国内感染症例の 現状と対策

平成26年10月3日  
厚生労働省

# デング熱について

## 1 病原体

デングウイルス(4つの血清型が存在する)

## 2 発生状況

日本では、海外において感染し帰国後発症する症例(いわゆる輸入症例)が、近年は年間約200例報告。なお、過去15年間に約1500例の報告があるが、国内で発症して死亡した症例の報告はない。

## 3 感染経路

ウイルスを保有した蚊に吸血された際に感染する。人から人への直接的な感染はない。

## 4 症状

突然の発熱、激しい頭痛、発疹など。

潜伏期間は2～15日(多くは3～7日)。

感染しても5-8割は発症しない。

発症しても重症化はまれ。同一の血清型での再感染はないが、異なる血清型で2度目の感染を起こした場合、重症化しやすいとの報告あり。

## 5 治療

ワクチンは存在しない。

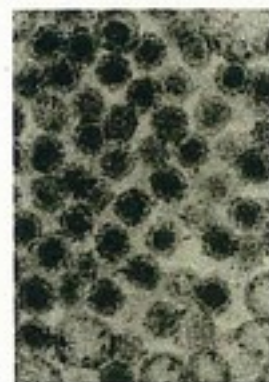
特異的な治療法はなく対症療法が主体。

有効な抗ウイルス薬はない。

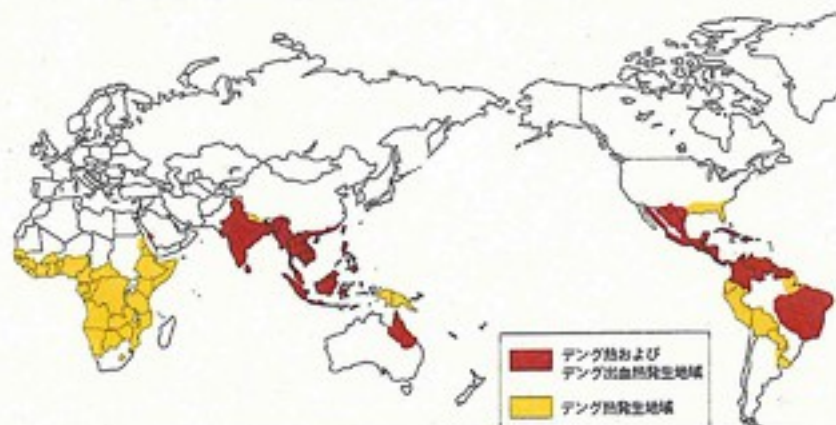
## 6 予防法

蚊との接触をさけること。具体的には

- ①長袖、長ズボンを着用する
- ②虫除け剤の使用
- ③蚊幼虫の発生源を作らないように注意する。



出典:国立感染症研究所ホームページ



デング熱発生地域

(出典:国立感染症研究所ホームページ)

# デング熱に対する我が国の対応①

## これまでの経緯

デング熱は、国内では1940年代前半に流行したが、その後、輸入症例を除いて、国内での発生は確認されていなかった。

平成26年8月25日、海外渡航歴がないにもかかわらず、デング熱への罹患が疑われる患者について、さいたま市内の医療機関から情報提供があったことから、国立感染症研究所において確認検査を実施したところ、デング熱の患者であることが確認され、同月27日に公表された。その後、10/2 11:00までに、以下の通りデング熱国内感染患者の発生が報告されている(表1)。

推定感染地	患者数
代々木公園及び周辺(渋谷区)	126
新宿中央公園(新宿区)	10
代々木公園周辺又は新宿中央公園	1
明治神宮外苑(新宿区・港区)又は外濠公園(千代田区)	1
千葉県千葉市稲毛区	1
東京都台東区	1
外濠公園又は都立青山公園	1
外濠公園	1
隅田公園	1
中目黒公園	1
不明	9
合計	153

## 感染が疑われる各公園の状況

- 代々木公園は大部分を閉鎖。蚊の調査、駆除を実施中。
- 新宿中央公園・神宮外苑・外濠公園等では注意喚起、蚊の調査・駆除を実施。
- 加えて、感染者の報告はないが、自主的な取り組みとして、新宿御苑を閉鎖。蚊の調査を実施したところ陽性。

## デング熱に対する我が国の対応②

### 基本的な対策

#### 1. 国民等への適切な情報提供

- ・マスコミへの適切な情報提供
- ・厚生労働省ホームページに専用ページを開設
- ・国内向け・渡航者向けの注意喚起ポスターを配付

#### 2. 医療の確保

- ・医療機関にデング熱の発生について注意喚起
- ・医療機関にデング熱の診療マニュアルを配付

#### 3. 予防・まん延防止対策

- ・地方公共団体にデング熱対応マニュアルを配付
- ・検疫所で渡航者に注意喚起。入国者の健康状態を確認

#### 4. サーベイランス・情報収集の徹底

- ・全国の地方衛生研究所へ検査キットを配付
- ・全国の自治体や医療機関に対し、疑い患者の報告を依頼。

# デング熱に対する我が国の対応③

## 関係機関緊急対策会議（9月6日（土））

厚生労働大臣出席の下、厚生労働省、国立感染症研究所、東京都、東京23区、国立オリンピック記念青少年総合センター及び明治神宮による緊急対策会議を開催。厚生労働省として、以下の対策を東京都及び特別区等に要請した。

### ○ 23区におけるデング熱発生を低減させるための対策

- ・住民への注意喚起
- ・感染後の蚊の刺咬の有無の確認(※)
- ・公園で長時間過ごす方の健康対策

※この対策については、全国の自治体に実施を要請

### ○ 代々木公園が所在する渋谷区及び隣接する特別区\*の公園における蚊対策

・これまでに確認されたデング熱国内感染症例の感染推定地は、代々木公園周辺に加え、新宿中央公園にも拡大した。このため、代々木公園が所在する渋谷区及び隣接する特別区の公園（訪問者数が多く、ヤブ蚊の生息好適地がある等）について優先的に蚊対策を行う(表2)。 \*世田谷区、目黒区、中野区、新宿区、港区、杉並区

表2: 渋谷区に隣接する特別区における蚊のウイルス保有状況調査実施場所

調査実施日	公園名	所在地	結果
9月6日(土) -9月7日(日)	有栖川宮記念公園	港区	陰性
	宮下公園	渋谷区	陰性
	杉山公園	中野区	陰性
9月8日(月)	戸山公園(大久保地区(西側))	新宿区	陰性
	戸山公園(箱根山地区(東側))	新宿区	陰性
	菅刈公園・西郷山公園	目黒区	陰性
9月9日(火)	駒沢オリンピック記念公園	世田谷区	陰性
	芝公園	港区	陰性
	和田堀公園	杉並区	陰性



## (参考)平成25年に国内で報告された蚊媒介性感染症

蚊媒介性感染症	疾患の概要	輸入例数	国内感染例	国内で想定される媒介蚊
マラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病原体：マラリア原虫</li> <li>○発生地域：アジア、中南米、アフリカなど熱帯・亜熱帯地域に広く分布し、年間約3億人の患者が報告され、約63万人が死亡している。</li> <li>○ヒト⇒蚊⇒ヒトの感染環を形成する。</li> <li>○主な症状は発熱。他に脳症、臓器不全。</li> </ul>	48	0	ハマダラカ類
日本脳炎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病原体：日本脳炎ウイルス</li> <li>○アジアに広く分布し、世界で年間3~4万人の患者が報告されている。</li> <li>○豚が増幅動物で、豚⇒蚊⇒ヒトでは感染するが、ヒト⇒蚊⇒ヒトでは感染しない。</li> </ul>	0	9	コガタアカイエカ
ウエストナイル熱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病原体：ウエストナイルウイルス</li> <li>○アフリカ、ヨーロッパ、北米、中東、中央アジア、西アジアなどに広く分布</li> <li>○鳥が増幅動物で、鳥⇒蚊⇒ヒトでは感染するが、ヒト⇒蚊⇒ヒトでは感染しない。</li> <li>○症状は発熱、頭痛、筋肉痛等。高齢者で重症化しやすい。</li> </ul>	1 (平成17年)	0	アカイエカなど
デング熱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病原体：デングウイルス</li> <li>○アジア、中南米、アフリカなどに広く見られ、年間5000万-1億人の患者が報告されている。</li> <li>○ヒト⇒蚊⇒ヒトの感染環を形成する。</li> <li>○症状は発熱、頭痛、筋肉痛等。予後は比較的良好。</li> </ul>	249	0	ヒトスジシマカ
チクングニア熱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病原体：チクングニアウイルス</li> <li>○アフリカ、アジア、インド亜大陸に広く分布している。</li> <li>○ヒト⇒蚊⇒ヒトの感染環を形成する。</li> <li>○症状は発熱、頭痛、筋肉痛等。予後は比較的良好。</li> </ul>	13	0	ヒトスジシマカ

(参考)国内に生息する主要な感染症媒介蚊

ヒトスジシマカ



コガタアカイエカ



アカイエカ

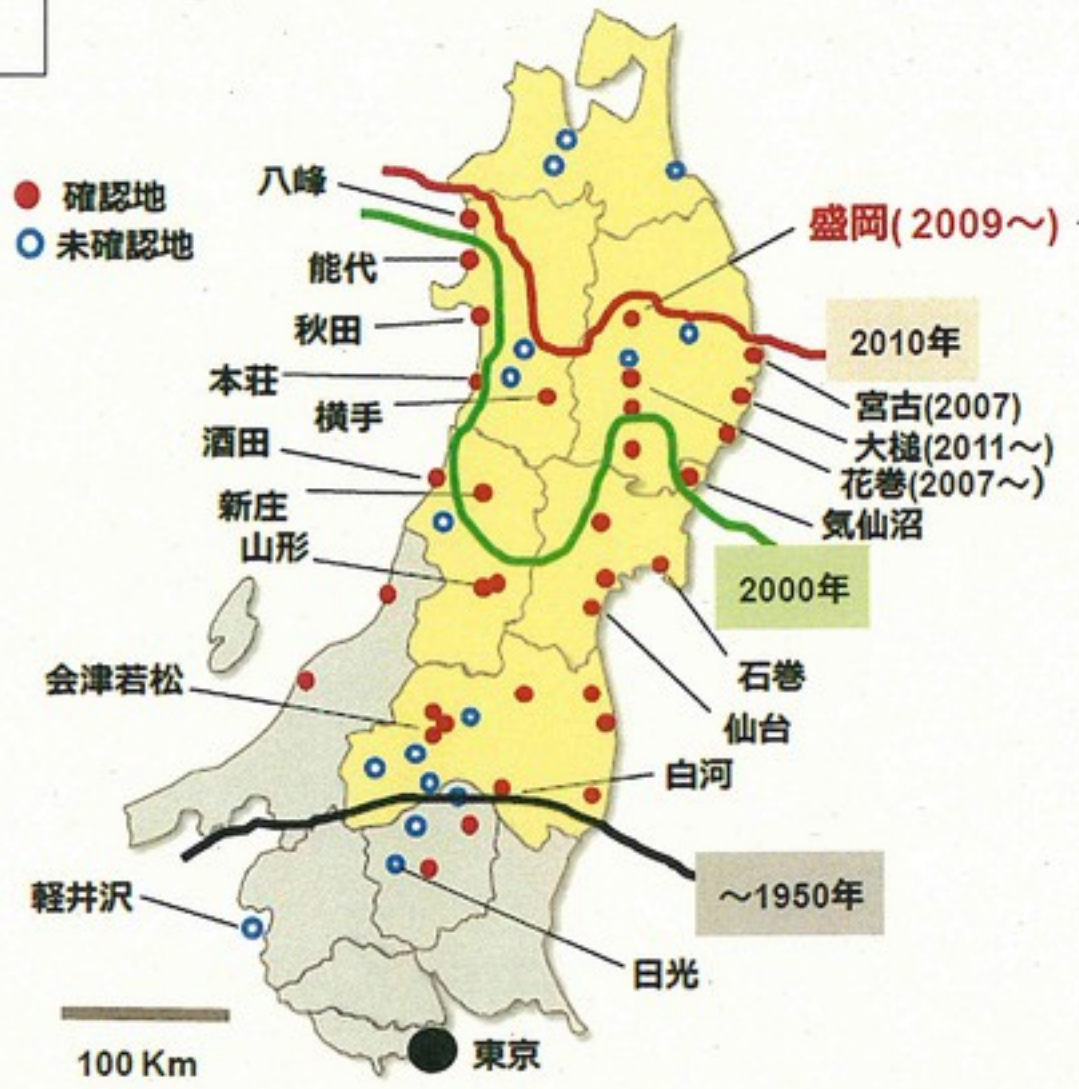


ハマダラカ



参考

# ヒトスジシマカの分布域



出典: 国立感染症研究所